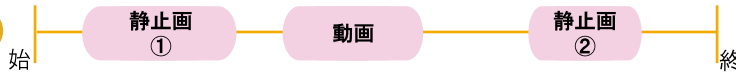


同時進行型



富山大学人間発達科学部
附属小学校
阿久津 理

実践テーマ

動画や静止画のポイントを絞って提示し、異なる立場の人の考えに気付く。

授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

- 導入：北陸新幹線建設現場の写真を提示し、建設事業の様子をイメージできるようにする。（興味・関心を高める）
- 展開：新幹線建設のあゆみを動画で提示し、富山県民の強い願いに気付くことができるようにする。（年表の理解を助ける）
- まとめ：建設予定地の地図を拡大提示し、予定地に住む人々の生活の変化を予想できるようにする。（住民の思いに迫る）

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線建設予定地「黒部市浦川端地区」の写真を見る（静止画①）。 写真から読み取れる土地の様子や住民の生活の様子を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真資料「黒部市浦川端 田園風景」
展開	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線建設に関する年表を読み取る。 学習問題「（東海道新幹線は計画から8年で完成したのに）なぜ北陸新幹線は完成までに34年間もかかっているのだろう」 新幹線整備事業の歴史を動画で視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> 北日本放送特集番組「悲運の鉄路」DVD
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 建設予定地を地図で確認（静止画②）し、完成後の様子や住民の思いを考える。 建設までに34年間かかっている理由を建設予定地のルートから予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図資料「黒部市浦川端 新幹線整備事業」



建設予定地の写真を提示し、県内のどこの地域かを予想する



動画の情報を一時停止しながら確認する



建設予定地の情報を読み取りながら、住民の立場で考える

児童の反応・効果

- 静止画や動画の提示により、興味をもって、短時間で多くの情報を理解することができた。
- 建設予定地を拡大提示することで、予定地の様子を読み取ったり、完成後の問題に気付いたりすることができた。

活用のポイント

- 地区全体を見渡せるルーズで撮った写真と建設中の橋脚をアップにした写真を提示し、事業の大きさや臨場感が伝わるようにする。
- 県民の強い願いなど心情に訴える資料は動画で伝え、年表は模造紙で作成して残したり、地図を全体で確認した後、配布したりするなど、情報の焦点化と蓄積を意識して使い分けるとよい。
- 新幹線の建設が少しずつ進んでいることが実感できるようにゆっくりと地図上に新幹線建設予定地に線を引くことで、児童は、土地の様子を地図記号から読み取り、建設予定地の人の立場に立って、住宅や畑がなくなったり、地区が分断されたりするという問題に気付くことができる。

小学校
社会